

抗菌・抗ウイルス

G-Doctor



■ピュアフラット 抗菌 抗ウイルス塗料

■各種塗料用抗菌剤

■ ピュアフラット 抗菌 抗ウイルス塗料

2液型ポリウレタン樹脂塗料

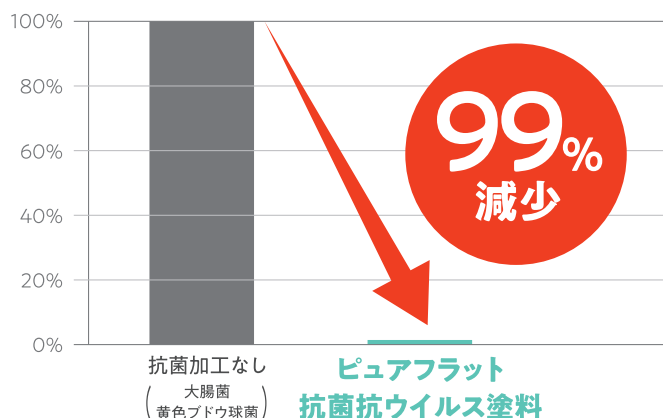


＊ 特長 ＊

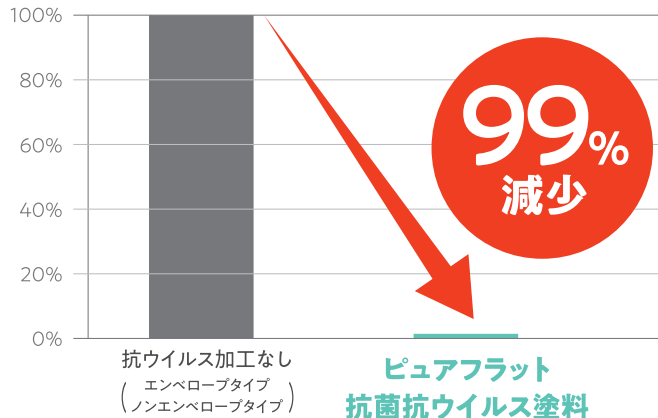
- 1 菌やウイルスに効果のある無機抗菌・抗ウイルス剤を配合
- 2 抗菌・抗ウイルス剤の主成分は特殊銀化合物のため安全性に優れます
- 3 家具・建材向け塗料と同様に使える2液型ポリウレタン系上塗り塗料
- 4 木質感のある自然な仕上がりが得られます
- 5 耐汚染性、耐薬品性、耐変色性に優れた表面性能を付与

＊ 効果 ＊

抗菌効果 試験方法:ISO22196に準じた試験内容
試験機関:一般財団法人ボークン品質評価機構



抗ウイルス効果 試験方法:ISO21702に準じた試験内容
試験機関:一般財団法人ボークン品質評価機構



※抗菌・抗ウイルスともSIAA表示基準をクリア。<SIAAコード…抗菌:JP0112963X0001E/抗ウイルス:JP0612963X0001J> (抗菌製品技術協議会 (SIAA) は抗菌・抗ウイルス性能基準値として、活性値 2.0 以上を要求しています。)薬機法により特定のウイルス名表記ができないため、エンベロープタイプ、ノンエンベロープタイプと表現しております。抗菌・抗ウイルス加工は病気の治療や予防を目的とするものではありません。ISOで定められた一定条件下で効果を確認したもので、あらゆる条件下の性能を保証するものではありません。

抗菌抗ウイルス剤の安全性

- 急性経口毒性：2,000mg/kg以上(ラット)
- 皮膚一次刺激性：刺激なし(ウサギ)
- 変異原性(Ames)：陰性(細菌5種)
- 皮膚感作性：陰性(モルモット)

塗膜物性

項目	方法		結果
耐汚染性	各汚染物質を滴下し被覆した後、24時間後にエタノールで拭き取り、痕跡の有無を評価。	しょうゆ	○
		ケチャップ	○
		カレー	○
		中性洗剤	○
		キッチンハイター	○
	各汚染物質を線引き後、24時間後にエタノールで拭き取り、痕跡の有無を評価。	赤マジック	○
		黒マジック	○
		青インク	○
耐薬品性	各薬品を滴下し被覆した後、6時間後に水洗いして異常の有無を評価。	1%炭酸ナトリウム水溶液	○
		5%酢酸	○
耐溶剤性	各溶剤を滴下し被覆した後、6時間後の異常有無を評価。	ウレタンシンナー	○
		ラッカーシンナー	○
耐光性(塗膜)	フェードメータ48時間照射前後の色差を測定。	塗膜外観	○
		ΔE	2.5
耐候性	キセノンウエザオ200時間照射前後の色差を測定し、塗膜変化を確認。	外観	○
		ΔE	3.7
耐湿性	シーリングした試験片を湿度95% 50℃ 100時間後の塗膜変化を確認。		○
耐湿熱性	塗面に沸騰水を滴下し沸騰水入りビーカーを20分放置後の塗膜変化を確認。		○
耐湿潤寒熱繰り返し	試験片を湿度95% 50℃ 2時間後、-20℃ 2時間置き、これを1サイクルとして10サイクル後の塗膜変化を確認。		○
塗膜硬度	三菱鉛筆「ユニ」手書き法(鉄板での値)		4H

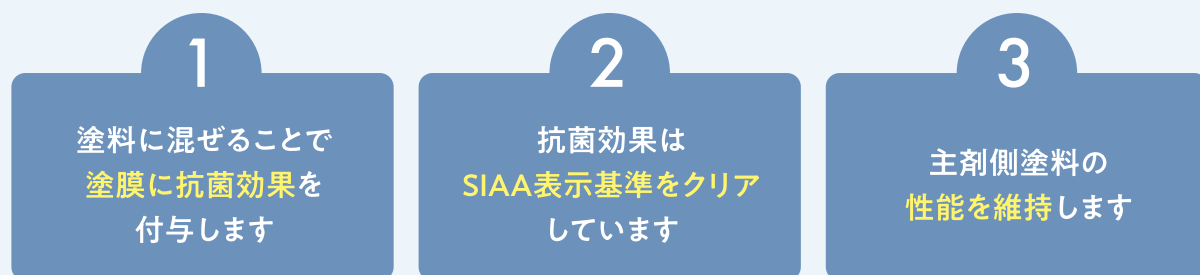
※上記試験は弊社試験データであり、製品性能を保証するものではありません。
抗菌抗ウイルス剤の影響により塗膜が経時で変色する場合がございます。白色系など変色が目立つ下地の上への塗装につきましては事前にご確認願います。

塗装工程 (一例)

	工程	使用材料	配合比	塗布量	乾燥時間(20℃)
1	素地調整	P180～P220 サンドペーパー			
2	着色	目止め：Z7-71-P 着色剤：ZP-**** リターダー：TU-39	100 1～30 適量	刷毛塗り後、拭き取り10～20g/㎡	2時間以上
3	中塗り	ビュアサンジングシーラー：主剤「US-30-＊P」 硬化剤「CB-022」 ビュアうすめ液	100 50 75	スプレー 80～100g/㎡	4時間以上
4	研磨	P400～P600 サンドペーパー			
5	上塗り	抗菌抗ウイルス塗料：主剤「UF-11-＊＊P」 硬化剤「CB-261」 ビュアうすめ液	100 25 75	スプレー 60～80g/㎡	8時間以上

■ 各種塗料用抗菌剤

＊ 特 長 ＊



＊ 効果 ＊

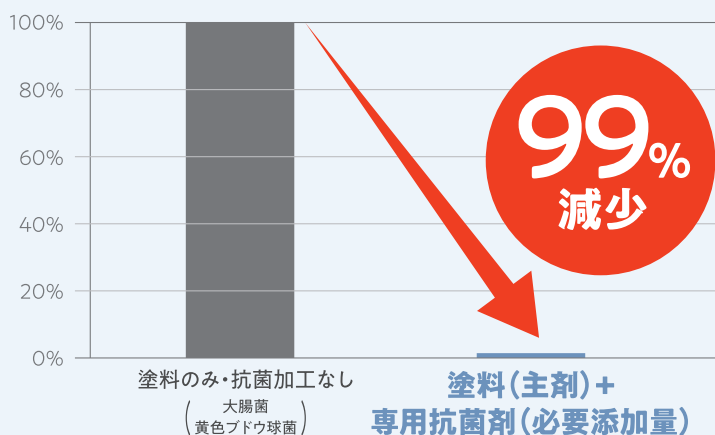
抗菌効果

試験方法:ISO22196に準じた試験内容
試験機関:一般財団法人ポーケン品質評価機構

※抗菌製品技術協会(SIAA)は、抗菌性能基準値として活性値2.0以上を要求しています。抗菌加工は病気の治療や予防を目的とするものではありません。ISOで定められた一定条件下での効果を確認したものであり、あらゆる条件下での性能を保証するものではありません。試験結果は専用抗菌剤を適合塗料に必要添加量を配合した条件の結果です。他の条件における効果は未確認です。

使い方

- 主剤塗料に必要添加量を配合し、
攪拌棒などで十分に攪拌してから
ご使用ください。



各種抗菌剤

① G-NATURE クリスタル専用抗菌剤 (ガラス塗料)		③ 水性塗料用抗菌剤	
② ユートンM ピュアタイプ用抗菌剤 (湿気硬化型塗料)		④ 水性S-MATT用抗菌剤	

※適合塗料以外に添加した場合の効果や塗料・塗膜性状への影響は保証できません。



G-Doctor シリーズ 商品情報

● 抗菌・抗ウイルス(2液型ポリウレタン樹脂塗料)

品 名	品 番	配合比	SIAA登録No.	荷姿	
ピュアフラット 抗菌抗ウイルス塗料	主剤:UF-11-P 硬化剤:CB-261	100:25	抗菌:JP0112963X0001E 抗ウイルス:JP0612963X0001J	主剤:16K、4K 硬化剤:4K、1K	ツヤ設定:ツヤ消し50%(50P) ツヤ消し70%(70P) ツヤ消し100%(99P) ツヤ消し150%(95P)

(社)日本塗料工業会F☆☆☆☆登録品 学校環境衛生基準適合

● 抗菌(主剤塗料に添加して使用)

品 名	品 番	添加量*	SIAA登録No.	荷姿	適合塗料
G-NATURE クリスタル専用抗菌剤	IZ-35	10%	JP0112963X0004H	360G	クリスタルハードトップ、 クリスタルインテリア
ユートンM ピュアタイプ用抗菌剤	DZ-55	2%	JP0112963X0008L	320G	ユートンMピュアタイプ
水性塗料用抗菌剤	DZ-65	1%	JP0112963X0006J	80G	水性ユートン、eLF木部内装用、 エルフカラー、エクステエナメル、 エクステカラー
水性S-MATT用抗菌剤	DZ-75	1%	JP0112963X0007K	50G	水性S-MATT

※ 主剤に対する添加量



安全・安心で適正な製品の証、SIAA認証製品です

[SIAAとは]

SIAA(抗菌製品技術協議会)は適正で安心できる抗菌・防カビ・抗ウイルス加工製品の普及を目的とした団体で、抗菌・防カビ・抗ウイルス加工製品に関する品質や安全性のルールを整備し、そのルールに適合した製品の安心のシンボルマーク(SIAAマーク)を認証しています。

[SIAAマークの認定基準]

「①抗菌性・防カビ性・抗ウイルス性」「②安全性」「③適切な表示」の各基準を満たした製品にのみ表示が認められており、抗菌性・抗ウイルス性についてはISO(抗菌性…ISO22196、抗ウイルス性…ISO21702)に準拠した試験結果、防カビ性についてはJISに準拠した試験結果に基づいて判定されます。



注 意 事 項

溶剤タイプ

引火性の液体です

溶剤中毒の恐れがあります

- 取り扱い作業は、火気の無い所で行い、局所排気装置を設けてください。また、燃料には使用しないでください。
- 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱いの際にはできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具（耐溶剤手袋、保護マスク、保護メガネ等）を着用してください。

溶剤タイプ

水性タイプ

- 本製品はよく振ってからご使用ください。
- 5℃以下での使用は避けてください。（乾燥時間が著しく遅くなります）
- どのような場合でも換気に十分注意してください。
- 本製品が皮膚に付着した場合は、速やかに石鹸水で洗い流してください。
- 目に入った場合には多量の水で洗った後、また、誤って飲み込んだ時にはできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 小分けして使用した残りの塗料（長時間空気にさらされたものや刷毛などで繰り返し塗布した後のもの）は、もとの容器に戻さないでください。（ゲルする可能性があります）
- 塗料ご使用後は必ず密栓をし、40℃以下で子供の手が届かない所へ保管してください。（凍結しない場所）
- 作業後に残った製品を処理する場合は、新聞紙などに塗り広げた後に焼却するか、または乾燥後ブラごみとして処分してください。量が多い場合には専門の廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 取り扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行ってください。

取 扱 上 の 注 意

- 本製品をご使用前に必ず製品安全データシート（SDS）の内容を確認してから使用してください。
- 本製品は、弊社の都合により組成等を予告無く変更、又は製造を中止する場合があります。予めご了承ください。
- 本製品の使用に当たっては、予め目立たない場所で試し塗りを行ってください。

● 商品のご用命は下記の代理店で



玄々化学工業株式会社

■ 本社工場

〒496-0005 愛知県津島市神守町字中ノ折74
Tel: (0567) 28-9207 Fax: (0567) 28-9219

E-mail: info@gen2.co.jp

URL: <https://www.gen2.co.jp/>

